

くしろ



ホームページ
QRコード



写真

- ①：ドローン運行会
- ②：そば打ち体験会
- ③：創立70周年記念式典

弟子屈町4Hクラブの愉快的仲間たち

若い農業後継者や従業員、農協職員の29名で構成される当クラブは、昨年に創立70周年を迎えた歴史のあるクラブです。

会員同士の交流を中心に、「勉強会・視察研修」、「プロジェクト活動」、「消費者交流」を行い、過去のプロジェクト活動で培った技術・知識は、地域内の生産現場でも活用されるなど、地域の農業に貢献しながらも地域の若者が一緒になって楽しく活動しています。

	所在地	電話・FAX	Eメールアドレス
釧路農業改良普及センター本所	〒088-2313 川上郡標茶町常盤8丁目5番地	Tel:015-485-2514 Fax:015-485-2249	kusirokita-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路東部支所	〒088-1365 厚岸郡浜中町茶内橋北東31番地	Tel:0153-65-2021 Fax:0153-65-2037	kushiroto-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路中西部支所	〒084-0917 釧路市大楽毛127番地	Tel:0154-57-8306 Fax:0154-57-4702	kushirochu-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp

ホームページアドレス: <http://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

重点活動の紹介(中西部支所)

雑草と鹿から草地を守る植生改善

鶴居村は植生の悪化が問題となっており、植生改善が必要とされています。しかし、作業面や鹿食害から草地更新を躊躇する声が農業者から聞かれていました。そこで、普及センターでは重点地域で行われている更新工法別のコストと作業時間を比較しました。その結果、A農場の深耕アップパーロータリを用いた自力更新が、最も低コストで作業時間が短いことがわかりました。

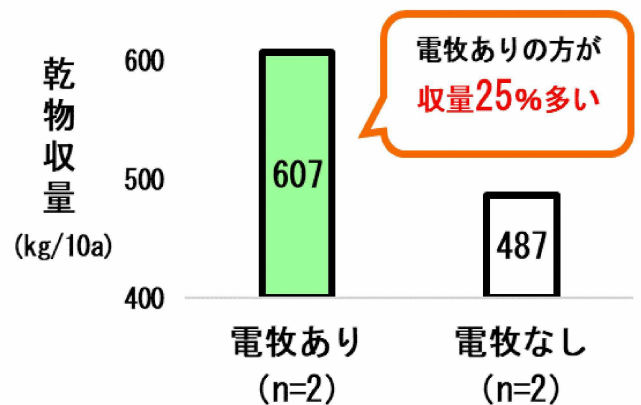
これを懇談会で報告したところ、翌年に別の農場が同じ工法で3.3haを更新しました。



A農場の深耕アップパーロータリ更新作業をD農場が視察

さらにこの農場では、鹿食害による新播草地の収量減少を抑えるため、電気牧柵を設置しました。その結果、設置しなかった草地と比べ、乾物収量で25%の食害を軽減することができました。農場の代表からは「今後もこの方法で収量を向上させたい」と植生改善への意欲的な声が聞かれました。

普及センターでは、今後も優良事例を基に、地域に合わせた植生改善を提案していきます。



電気牧柵設置有無による1番草と2番草を合計した収量差 (R2年)

地域の話(本所)

酪農現場の労務管理を学ぶ

令和2年11月16日、JAしべちゃにて第2回レベルアップ研修が開催されました。この研修会は北海道が主催し、釧路農協連が実施したもので、酪農生産現場で課題となっている安定的な雇用・人材確保を目的としています。講師には特定社会保険労務士の渡部久四郎氏を迎え、農業者および農協・普及センター職員など24名が受講しました。

まず、事業主は雇用契約書や労働条件の通知書・就業規則を作成する必要があるとの説

明がありました。トラブルを回避するために、「雇用の際は会社側が従業員に内容の説明を行い両者が署名する」、「実際に行われていることを記載する事が大切」とのことでした。

次に関連法の説明が行われ、注意点として安全配慮義務(起こりうる事故に対しての教育等)、働き方改革関連法の施行による年休取得義務化が挙げられました。

普及センターでも、来年度、雇用確保に向けた研修会を企画します。是非ご参加下さい。



研修会の様子



『経営リスク保証』に関する情報提供がありました

推進事項の紹介

釧路管内の付加価値活動をHPで発信

釧路農業改良普及センターホームページ（HP）にて、管内で生産物の付加価値活動に取り組む農業者などの活動と商品を、R2年から紹介しています。

普及センターでは、付加価値活動に取り組む方の目的や苦労したこと、新たな取組希望者へのアドバイスなどを事例調査してきました。そのまとめとして、販売内容を伝えるページを「釧路の農場発！釧路のおいしい商品を紹介」と題して公開しました。現在、23件

の取組内容を紹介しています。

項目は牛乳・チーズ・アイスクリーム類・菓子類・野菜直売・肉類直売・農業体験・ファームレストランなどに分けました。釧路管内には生産物を活かしたおいしい商品がたくさんあります。

情報は随時更新予定です。地域と農業をPRする農業者の取組みを、再確認いただければと思います。



加工販売マップ



守屋農場 農産物直売所（釧路町）

推進事項の紹介

指導農業士が標茶高校進路座談会で酪農について講演

普及センターでは、北海道指導農業士・農業士釧路地区連絡会議と連携して地域の担い手育成に向けた取組みをしています。

令和2年9月8日に標茶高校の進路座談会の農業分科会で、2名の指導農業士（工藤氏（浜中町）、高橋氏（標茶町））が酪農や農家の生活について講演をしました。

最初に、指導農業士の2人から、経営概要や規模拡大の経緯、農業に対する思いなどが語られました。次に、普及センターから釧路

農業の概要について説明しました。

講演後の質疑では、「給与メニュー」や「季節ごとの作業内容」、「ブラックアウトの時の対応」や「仕事のやりがいについて」などの質問が出ました。

参加した生徒からは、「酪農に興味が出た」「将来実家を継ぎたいが、その課程を考えたことができた」などの感想が出されました。

今後も、連絡会議と協力しつつ地域の担い手育成に取り組んでいきます。



講師を務めた指導農業士の高橋氏（左）と工藤氏（右）



進路座談会の様子

換気改善で哺育・育成の肺炎を軽減！ (浜中町 及川牧場)

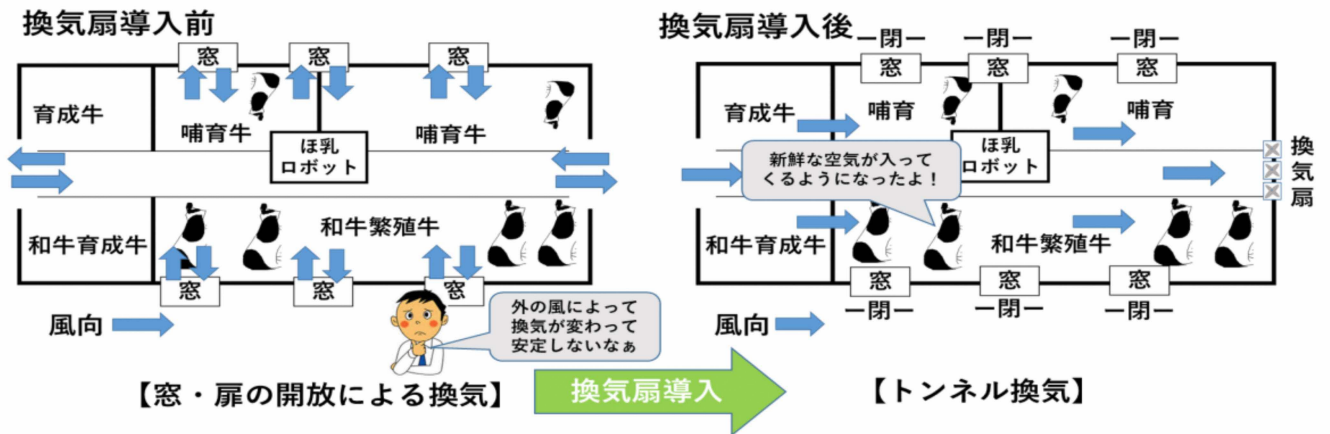
浜中町の及川牧場が取り組んだ『臭気・疾病対策』を紹介します。
同農場では古いつなぎ牛舎を哺育・育成施設として活用しており、換気が悪く、哺育期の肺炎の発生に悩んでいました。
また、牛舎内の臭気がきついため作業性や育成環境を改善したいと考え、『牛舎に換気扇を整備し、トンネル換気』を行いました。



導入した換気扇



臭気測定し牛の快適性を確認



窓の開閉による自然換気から、換気扇を導入し窓を閉めトンネル換気に！！

表1 アンモニア測定結果

	設備前	2019年10月	2020年2月	2020年4月	2020年9月
パーンクリーナー付近	4.5ppm	2ppm	0ppm	2ppm	0ppm
牛床	2ppm	1ppm	0ppm	2ppm	0ppm
飼槽	1ppm	1ppm	0ppm	1ppm	0.5ppm

障害物があり、
空気の滞留しやすい
ほ乳ロボット周り以外
は臭気が低減！！

表2 風速測定結果

	設備前	2020年4月	2020年9月
通路	1m/s	2m/s	1.2m/s
牛床	0.5m/s	1m/s	1.3m/s
出入り口	1m/s	2.2m/s	2m/s

ドアから新鮮な空気が
入るようになりました。

換気改善により哺育・育成牛舎で飼養している1～5ヶ月齢の肺炎発生割合が20.6%減少しました（表3）。

表3 1～5ヶ月齢の肺炎の発生状況

	2019年1月～10月（設備前）	2020年1月～10月（設備後）
発生割合	40%	19.4%



「実際にやったこと
の効果が見られて
良かった。次は、
乾乳舎や本牛舎を改
善してみよう！」